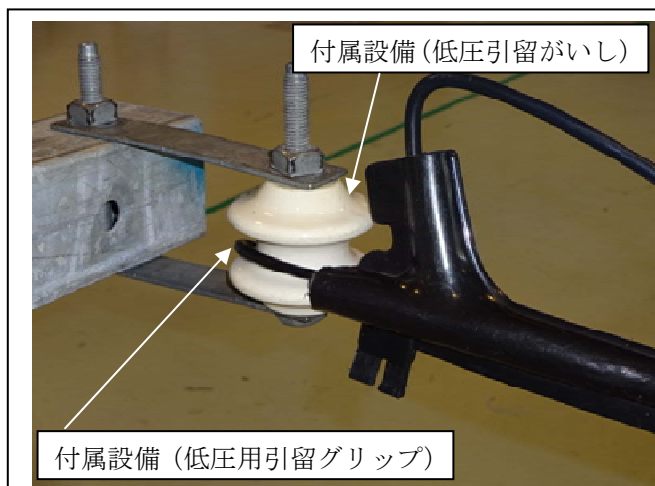


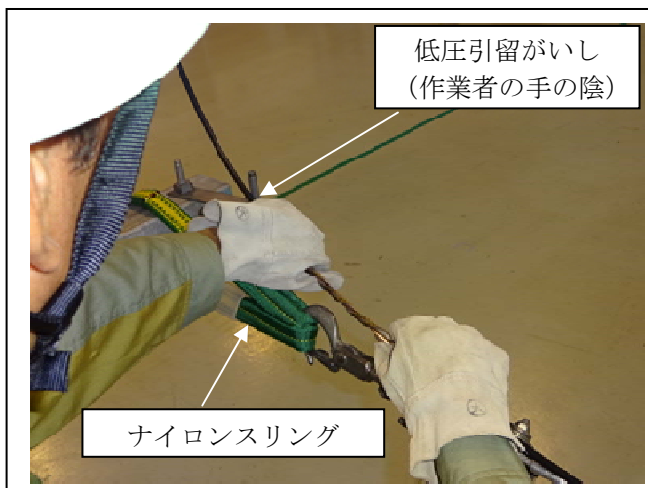
発生メカニズム

【作業者の目線】



- ・低圧用引留グリップが低圧引留がいしの溝に収まっているように見える

【低圧用引留グリップが見えづらい場合】



- ・作業者と低圧用引留グリップ間の工具（ナイロンスリング）により死角が生じる。
- ・低圧引留がいしを覆うように低圧用引留グリップの根元を握った場合、作業者の手により死角が生じる。

【作業者と反対側】



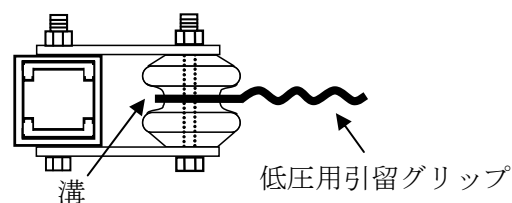
- ・低圧用引留グリップが低圧引留がいしの溝から外れている

再発防止策【用品の開発】

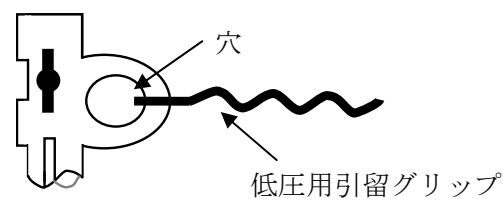
【新規用品開発】（用品形状改良による「施工不良」の防止）

- ・低圧用引留グリップが外れない形状へ改良（固定箇所：「溝」→「穴」へ変更）

[現行品]（「溝」に施設する形状）



[改良案]（「穴」に施設する形状）



再発防止策【施工方法の見直し】

[施工会社]
施工時の適正性を確認

【自主点検】

- ・施工者の「自主点検方法」の具体化（「ミズよし」の呼称等）

【自主検査】

- ・「低圧用引留グリップ施工に関わる検査項目」の追加
- ・低圧用引留グリップ施工後の「写真撮影」の導入

再発防止策【施工後の検査・定期巡視内容の見直し】

【定期巡視項目の追加・教育】（定期巡視における「施設不良の見落とし」の防止）

- ・定期巡視項目への施設不良（低圧用引留グリップ外れ）項目の追加
- ・巡視結果から得られた共有化すべき事項を共有化・水平展開する仕組みの強化
- ・本件を題材とした巡視者教育の充実

[中部電力]
施工結果の適正性を確認

【検収検査・請負指導】

- ・低圧用引留グリップの「写真検査」の導入
- ・施工会社の自主点検・自主検査改善状況の施工現場における確認